

GOVERNOR's Monthly Letter

ガバナーズ マンスリー レター

D2580
ガバナー月信

4

APRIL 2020 Vol.10

発行

国際ロータリー 第2580地区 ガバナー事務所

〒104-0031 東京都中央区京橋 2-11-8 全医協連会館1階
TEL: 03-3538-0211 FAX: 03-3538-0212
E-mail: office@rid2580.org URL: https://www.rid2580.org/



危機の時 今こそロータリー

国際ロータリー第2580地区
2019-20年度ガバナー
新本 博司

ハイサイグスーヨーチューウガナビラ = 皆さんこんにちは皆様お元気でお過ごしでしょうか(沖縄の言葉)

さて、新型コロナウイルスという新種の感染症が瞬間に猛威を振るって世界中を震撼させて、どうしようもない不安と動揺に陥っております。皆さんに心よりお見舞い申し上げます。現時点で感染がいつ終息するのか、経済的不安はいつ解消されるのか、全く見通しはつかない状況にあります。その影響で、ロータリー活動においても開店休業の様相で、クラブ例会を休会としているクラブが多数ございます。本来ならこの時期はガバナーエレクトが次年度に向けたRI会長方針を発表する最も重要な時ですが、次年度地区チーム研修セミナーは中止、PETSと地区研修協議会は規模を縮小して開催という非常事態を余儀なくされております。

青少年交換プログラムに関しても、WHOからのパンデミック宣言や日本政府からの声明、RIJYEMから発信された指針などに鑑み、学園生活にも溶け込んだ頃ですが、来日学生の母国への早期帰国並びに派遣中の学生に対し、日本への帰国を基本方針として決定し、断腸の思いで手続きをしているところであります。

最も恐れておりました、ホノルル国際大会中止の報に至っては、この日を心待ちにしていた参加希望者にとりま



地区大会 本会議にて

しては、失望と落胆の念しかありません。今はただ一日も早い終息宣言を祈るしかないでしょうか。

今こそロータリー

コロナ騒動が今後の経済、社会活動にどのような影響を及ぼすか予想もつきませんが、傍観すればよいのでしょうか。否、今一度ロータリーの原点に返って行動を起こしましょう。経済活動の停滞による不景気とりわけ非正規雇用の生活困窮、病に苦しむ人々や医療の現場で葛藤する人々、観光業に携わる人々など、それこそ見通し不能の状態です。地域社会のニーズにクラブはどう応えられるか、どういう奉仕をすればよいのか、職業奉仕、社会奉仕の理念を討議してはどうでしょうか。他地区では、クラブ例会の休会で浮いたお金をフードバンクに寄付したという事例報告もあります。地域が活性化してこそ、明るい未来が実現します。

「マーク・ダニエル・マローニーRI会長とホルガー・クナークRI会長エレクトからのメッセージより一部抜粋(3月15日)」

現在、新型コロナウイルス(COVID-19)が私たちの生活のあらゆる側面にリアルタイムで影響を及ぼしており、ロータリアンは通常とは異なる事態に直面しています。「世界を変える行動人」として自由に動き、会合を開き、支援の手を差し伸べて世界に関与できることが最善の状態ではありますが、目下の状況では、一緒に学び、成長し、そして奉仕することが非常に困難となっています。

リーダーシップが求められる今日、私たちは地域社会のリーダーとなっており、多くの点において今こそ私たちが必要とされるときとなります。私たちはこれまで、助けを必要としている人びとに迅速に支援を提供するため、行動し、協力する能力を証明してきました。それはまさに、現在の世界で必要とされているスキルです。新型コロナウイルスに対する世界的な取り組みは各国での行動にかかっており、ロータリーには、すべての国と地域社会で、それらの行動を前進させるための能力が備わっています。

ロータリアンは、ロータリークラブ、ローターアクター、インターアクターと協力し、あらゆる技術を駆使して大きなプロジェクトに取り組むことができます。実際、保健当局が必要とされる情報を伝えたり、必要な機器や支援を提供したりする際に、ロータリークラブが力となる例が数多くあります。

今は、「ロータリーは世界をつなぐ」のテーマを革新的な方法で示す機会となります。また、私たちはWHOと地元保健当局の勧告に注意深く従うべきであり、それには、感染を引き起こしうる不必要な接触を減らすためにクラブの行事や会合を中止することも含まれます。私たちが注力できることは、恵まれない境遇にある人びとが孤立や不安に対応できるよう支援し、保健当局が現況に対処できるよう支援するなど、各地域社会での活動となるでしょう。

現時点では集って会合を開くことは困難なので、会員同士あるいはクラブ単位でICTを活用して意見を交換し合い、情報を共有しましょう。いろいろ素晴らしいアイデアを出し、実行に移していきましょう。

盛り上がった地区大会について

新型コロナウイルスの影響が出始めて開催が危ぶまれた地区大会でしたが、予定通り2月11日～13日に沖縄の地で天候にも恵まれ感動と余韻を残して終えることができました。

地区大会には、国際ロータリー会長代理として裏千家第15代家元千玄室大宗匠、国際ロータリー2018-20年度理事三木明氏をはじめ、台湾姉妹地区第3482地区周佳弘ガバナー、そして全国各地の同期ガバナー、地区内外のパストガバナーの皆様にご臨席を賜りました。会員の皆さんと併せて、総勢1,500名にご参加いただきました。沖縄開催という遠隔地のハンディキャップに加え、予期せぬコロナ騒ぎで果たして成功するだろうか心配もありましたが、案ずるより産むがやすしとなり、



すべての関係者の皆さんに感謝申し上げます。

地区大会開催にあたり、次の方針を掲げました。「奉仕の実践 平和で明るい未来」その方針に添ってロータリーデーと平和フォーラムの開催を計画しました。

ロータリーデー

当地区大会で初めて「ロータリーデー」が那覇市と共催で行われました。地区大会前日(2月11日)の13時から17時半に、那覇市久茂地のパレットくもじ前広場にて、展示とステージイベント、清掃活動を行いました。ロータリーデーとは、地域社会の人びとに、楽しみながら情報を学んでもらうイベントを催し、ロータリーを紹介するという、とてもシンプルなものです。クラブ入会への関心をもってもらい、ロータリーについてより良く理解してもらえる、またとない機会となるでしょう。ロータリークラブやローターアクトクラブやインターアクトクラブがロータリーデーを開催することができます。クラブ単独でも、近隣クラブと合同でも、地区で開催しても構いません。地域の市民、友人、若者、他の団体と連携して活動することで、クラブと社会の絆を強め地域貢献に対する意味を引き出すことが期待されます。

「ロータリーは世界をつなぐ」という今年度のテーマの下、開催地である那覇市に共催としてご協力いただきました。展示ブースには、国際ロータリー第2580地区から公共イメージ向上委員会、ロータリー財団委員会、米山奨学委員会、東京新都心RC、沖縄分区インターアクトクラブ(那覇高校、那覇商業高校、興南高校、昭和薬

科大学附属高校)が出展、一般財団法人比国育英会バギオ基金、認定NPO法人アンビシャス、ガールスカウト沖縄県連盟、那覇市まちづくり協議会、那覇市観光協会、那覇市社会福祉協議会にも出展いただきました。

ステージでは、ロータリーデーの主旨発表と各出展団体の紹介が行われ、沖縄色豊かな演出を行いました。那覇青少年舞踏プログラムが披露され、私も一緒に踊りました。また一般社団法人劉衛流龍鳳会村上龍鳳館の演武(空手)も披露されました。同時に、ロータリアン、インターアクト、ローターアクト、ローテックスやガールスカウト、一般の方々も参加して、清掃活動を行い、沖縄観光の中心地、国際通り周辺を綺麗にしました。

我が地区としてロータリーデーを開催したのは初めてであり、しかも行政の那覇市と共催できたことは、公共イメージアップにつながりとても良かったと思います。



第一回沖縄学友の集い

沖縄では初めての学友の集いが、ロータリーデーの後に行われました(17時45分～於:ホテルロコアナハ)。沖縄のインターアクト(東京からは試験期間に当た



ることもあり、参加はありませんでした」と、東京のローターアクト、米山奨学生、平和フェロー、ローテックスが参加して、グループトークが行われました。懇親会にはロータリアンも参加して交流を深めました。ローターアクトが非常に注目されておりますが、インターアクト・ライラ・青少年交換の学友がローターアクトクラブで活動し、そしてローターアクト・米山奨学生・平和フェローからロータリアンへと繋ぐことが、期待されております。学友の集いで、ロータリアンが彼らと繋がり続けることが、大事だと思います。沖縄で初めて学友が集ったことに、大変意義があったと思います。ローターデーと清掃活動には多くの学友に参加いただきました。学友に奉仕の機会を与えること、ロータリアンが奉仕を実践して学友にロータリーの魅力を教えることが、将来のロータリーの繁栄に繋がると考えます。



会長幹事会

大会初日(2月12日)13時より、沖縄ハーバービューホテル2階「彩海の間」で会長・幹事会が行われました。

これに先立ち、各種委員会が開催されております。私が挨拶した後、信任状委員会(上山昭治委員長)、選挙管理委員会(松坂順一委員長)、決議委員会(吉田雅俊委員長)の報告があり、その後ロータリー財団委員会報告(吉田雅俊委員長)がありました。ここでは、寄付を生かして使う、財源確保について話があり、各クラブの財団寄付実績が示されました。

更に立法案検討委員会の報告(鈴木隆雄委員)があり、RI会長代理千玄室氏とRI理事三木明氏からご挨拶をいただきました。千会長代理からは、「奉仕の実践」、「平和への寄与(天から与えられた使命=天職)」、「行動(Action)」、「繋ぐ(Connect)」、「同化(Assimilate)」と言うキーワードが示され、本当のロータリーの目的に目覚めて欲しいというメッセージをいただきました。この後、平和フォーラムを行いました。こちらは会長幹事会のメンバーの他に、ノンロータリアンの参加も可能な形態を採りました。



マローニー会長メッセージ

マローニーRI会長が青森にいらした時において、地区大会へのメッセージを録画していただきました。地区大会当日は上手くビデオが上映されず、本会議でも予定と時間を変えて上映されましたので、ここにメッセージ内容(和訳)を掲載いたします。

“こんにちは、マーク・マローニーです。私は国際ロータリー 2019-20年度の会長です。本日は第2580地区の、沖縄での「平和フォーラム」にご参加いただき有難う

ございます。

ご存知かと思いますが、私たちは今年、国連とのよい関係のお祝いをいたします。今年度の最後、2020年6月は、国連憲章の署名75周年にあたるのです。そして、この「平和フォーラム」が今回、第2580地区の沖縄で開催されることは、誠に当を得たことと言えます。ロータリーが国連に協力する目的は、世界の平和に貢献するためからです。どうぞこの会合を楽しんでください。Arigatou Gozaimasu”

平和フォーラム（基調講演・パネルディスカッション）



私がかねてから沖縄で平和フォーラム開催をと願って来たことが、遂に実現しました。基調講演者には外科医でNPO法人Future Codeを設立された、ロータリー財団学友の大類隼人氏をお招きしました。兵庫県医科大学呼吸器科、救命救急科兼任助教でいらっしゃる大類さんは、英国リーズ大学院でインターナショナル公衆衛生学マスターを取得後、国内外の災害医療活動参加後、Future Codeを設立され、発展途上国で医療支援活動や、人材育成、貧困の削減に取り組んでいらっやいます。

配布されたFuture Codeのパンフレット「私はあきらめない：大類隼人」に書かれている様に、『「生きる」ということは、人や文化を育てる最も大切な根幹です。しかし世界では我々が当然と思う医療や支援を受けることができず毎日多くの命が失われている現実があります。私たちは神戸・関西より世界の災害・貧困地域に医療支

援活動を行う公の行政機関より認定を受けた認定NPOです。この地域に生まれた私たちが当然持つべき「生きる権利」を現地の人々と共にFuture Codeは創りあげていきます』というメッセージを、彼のハイチ、バングラデシュ、ブルキナファソでの活動体験を通して語っていただきました。

ハイチで出会ったシスター須藤昭子医師に影響を受け、大類さんは奉仕活動を始めたのですが、それぞれの地域によって必要とされるものが違うことに彼は気付きました。資源の有無などにより、貧困は発展度合いの差が出るのです。バングラデシュでは貧困をなくすためには教育が必要であり、高度医療が求められていました。ブルキナファソは貧困トップ10に入る国で、マラリア感染対策としての蚊帳が必要でした。トイレが水と衛生の改善に最も重要であることが判り、効果的で簡易なトイレの建設をしたのであります。

行動が自分を創っていく、という大類さんの言葉がとても印象的でした。戦争や紛争が無いだけでは平和ではない、と彼は言い切ります。ブルキナファソでは、宗教を越えての相互理解があって、そこが好きだと彼は言います。ブルキナファソの産物シアバターを「ハダニシア」というブランド名で彼は販売しています。目標は一つ、「世界中誰も置き去りにしない」ということです。そのため長期的な観点から継続可能な支援を考え、飛躍が夢には必要という観点技術の研究・導入を怠りません。理想を掲げながら、行動力を発揮される大類さんには、本当に頭が下がります。

パネルディスカッションは、姫路RC所属で2018-20年度RI理事の三木明氏にコーディネーターをお願いし、大類隼人さんの他に楊小平（ヤン シャオピン）さん、デレック・チンさんを加えて行われました。ヤンさんは、広島大学卒で、「広島原爆体験者の継承の在り方」で博士号取得、2012-13年度優秀米山学友賞、2013-15年度よねやま親善大使を務められ、現在広島平和記念資料館で外国人唯一のピースボランティアガイドとして、来館者に原爆の被害を伝え、解説している方です。またチンさんは、カリフォルニア大学ロサンゼルス校で

東アジア研究をされていた方で、現在は国際基督教大学院に通う第18期ロータリー平和フェローです。

お二人からは、それぞれの活動をご紹介いただき、出会いから始まった活動に感じ入りました。多文化共生はどのように達成できるのかについてもお考えをお聞きしました。

最後に元RI理事で2780地区茅ヶ崎湘南RCの松宮剛氏より、「根本的には分かり合えない」ことを前提として、相互理解の壁を認識することが大事であるという意見をいただきました。

本会議

大会第2日目(2月13日)は、会場を沖縄コンベンションセンターに移して、本会議、懇親会が行われました。マローニー会長は“ロータリーは世界をつなぐ Rotary Connets the World”をテーマとし、「ロータリーを成長させること」「家族」「ロータリーと仕事の共存」「国連とのパートナーシップ」の4つを強調事項として掲げられました。急速に変化する世界でより良く奉仕していくために必要な本来の行動計画が、人のつながりを生かして「ロータリーの戦略計画」としてスタートいたしました。

地区大会に集まった方々は、ロータリーという存在による一期一会の縁で結ばれ、今まで出会ったことのない人々とのつながりがもたらされました。このつながりを大切に、地区テーマを「奉仕の実践/平和で明るい未来」としました。地区大会で一堂に会しているのも、価値観を分かち合える人を見つけるために創設されたロータリークラブが、長い年月の経った今日も変わらず輝きを放っているのもその証であります。

地域単位で構成されるクラブにとって、ロータリーの掲げる相互理解と国際親善の推進、即ち「奉仕の精神を実践すること」こそ組織の活性化に不可欠です。またロータリーは世界をしっかりと踏まえた上で、時代の流れとともに「私たちの背景が大きく変化している状況に対応して良かった」と思えるクラブになることが大切だと思います。

日本のロータリーは今年100周年を迎えます。ロータリーの奉仕の実践が世界に、地域社会に、そして私たち自身の人生にどのように「永続的な良い変化」をもたらすのか、クラブのそして日本のロータリーに希望あふれるビジョンをどのように描いていくのか、一人一人の英知を結集したいと思います。

14時に新垣地区幹事の司会で始まり、RI会長代理入場と点鐘後に、国歌斉唱があり、物故会員に対して黙祷が行われました。実行委員長の稲垣純一氏の開会のことばの後、私からRI会長代理をご紹介して、幹事から来賓の紹介、ガバナー補佐から参加クラブ紹介がありました。ここがいつも一番盛り上がる場所ですね。

私から挨拶を申し上げた後、姉妹地区である国際ロータリー第3482地区ガバナー周佳弘氏より祝辞をいただきました。祝辞内容はプログラムに印刷されておりますのでご覧ください。その後のRI会長代理特別講演の内容は、次の別項目をご覧ください。

RI会長メッセージを流した後、ロータリーファミリー活動報告がありました。信任状委員会報告、選挙管理委員会報告、決議委員会報告を受けて、決議審議・採択を行いました。この後、記念品贈呈・表彰を行い、野生司ガバナーエレクト、若林ガバナーノミニ、嶋村ガバナーノミニ、デジグネットからご挨拶をいただきました。次年度地区大会ホストクラブ代表挨拶、ガバナー謝辞の後、点鐘となり、無事大役を終えることが出来ました。



国際ロータリー会長代理特別講演

地区大会にお越しいただくRI会長代理の推薦依頼があり、即、千玄室氏をご指名お願いいたしました。ご本人にも直接お願いし、快くお引き受けいただきました。マローニーRI会長が青森にいらした際、三木RI理事と懇話し実現しました。

本会議では千玄室氏より、「ロータリーの心、茶の心」という演題でお話いただきました。千玄室氏は大正12年京都府生まれで、同志社大学法学部経済学科卒業、ハワイ大学就学、韓国中央大學校大学院博士課程修了、文学博士でいらっしゃいます。昭和39年千利休居士15代家元を継承、裏千家今日庵庵主として宗家を襲名、平成14年嫡男に家元を譲座し、千玄室に改名されました。紫綬褒章、藍綬褒章、文化功労者国家顕彰、勲二等旭日重光賞、文化勲章、レジオン・ドヌール・勲章コマンドール（仏）、大功劳十次章（独）、聖マウリツィオ・ラザロ騎士団最高位第十次騎士勲章（伊）、独立勲章第一級（UAE）、等を受賞されております。1954年に京都南RC創設につきチャーターメンバーとして入会、1975-76年国際ロータリー第2650地区ガバナー、1988-90年RI理事等を歴任されております（詳細は大会パンフレット参照）。戦中海軍特別攻撃隊の一員であった千玄室氏は、沖縄に思い入れがあると仰います。毎年、慰霊のために訪沖くださっております。

千玄室RI会長代理は、次の様なメッセージを寄せてくださいました。『マーク・ダニエル・マローニー会長は“ロータリーは世界をつなぐ”のテーマを掲げております。会員一人一人が自身の職業意識を良心的に発露され、少しでも世の中が平穏に、そして和やかになるよう行動することによって、その真価が現れます。そして、皆さんがロータリーの奉仕を通じ、有能で思慮深く、寛大な人びとが手を取り合い、行動を起こすために繋がり築いていくことをマローニー会長は望んでおられます。

本地区大会では平和フォーラムが開催され、認定NPO法人Future Codの大類隼人代表より開発途上国における医療、公衆衛生、教育の現状についてお話

しいただけるものと思います。大会テーマ「奉仕の実践/平和で明るい未来」のもと、参加される会員皆様が私たちに当たり前のようにある「平和」について今一度考える機会になればと願っております。』

特別講演では、Dedication（献身）という言葉を感じに使われていたのが印象的でした。Dutyではなく、Dedicationです。Serviceには二種類あり、行動とお金を出すこと。体を使って自分でやる、捧げることがDedicationだと仰いました。Donate（お金を出すこと）だけで済むものではない、ということも仰いました。

お茶の世界は半歩下がる。何故お茶碗を回すのか？謙虚さを持つことが、いざこざを無くして平和を求めるのに必要だと仰いました。前日の会長・幹事会、そして平和フォーラムの席でも、謙虚と行動について言及されておられました。我々ロータリアンは、奉仕の実践を行うことが求められていると思います。



大懇親会



すべての会議・催しが終了し、フィナーレは会場をコンベンションセンター大展示場に移して、終始盛り上がりました。玉城デニー沖縄県知事もご臨席され、全国のロータリアンが首里城消失に際し、2,700万余の支援金を贈ったことに感謝の言葉を述べられました。アクションは「琉球チムドン楽団」をはじめ、沖縄ムードに会場は興奮のるつばに浸りました。まさに「ロータリーは人々をつなぐ」を体感いたしました。最後は、恒例のカチャーシーの踊りで会場が一体となり、舞台上下で乱舞し、歴史の一頁を刻み、幕を閉じました。

総括

新型コロナウイルスという予期せぬ出来事が起き、開催も危ぶまれましたが、大過なく終了できたことをすべての関係者にお礼申し上げます。特に昨年10月に焼失した首里城に、地区内のみならず、他地区ガバナー同志の皆様から多額の支援金が寄せられ、RI会長代理歓迎晩餐会の場で那覇市長に直接贈呈できたこと、県民にご報告ができたことがいつまでも心に残ります。感謝しております。

地区役員、クラブ会長・幹事、沖縄地元の那覇南RCの実行委員の皆さん、沖縄分区クラブのチームワークによるご協力のお陰であり、改めてお礼申し上げます。

地区クラブ奉仕委員会報告



地区クラブ奉仕委員会（半場慎一委員長・東京新都心RC）では、今年度の重要事項として「ブランディング」を取り上げました。「ブランディング」とは、各クラブの「らしさ」を構築することであり、各クラブにおいてそのクラブが持つ独自性や個性を議論し、発見してもらうこと

が、各クラブのブランディングにつながり、ひいてはクラブの活性化や公共イメージの向上につながるものと考えております。

そこで、クラブ奉仕委員会では、自クラブの「らしさ」を議論・発見していただくために、「らしさ」に関するアンケートを実施し、各クラブの「らしさ」を一言で表すキャッチコピーを議論していただきました。その結果、ほぼ100%のクラブから、創意工夫を凝らしたキャッチコピーのご提出をいただきました。皆様のご協力に感謝いたします。

それを受けて、2020年2月4日（在京59クラブ）及び12日（沖縄11クラブ）、クラブ奉仕委員長報告会が実施され、各クラブ奉仕委員長から自クラブのキャッチコピーの発表とその説明が行われました。クラブ奉仕委員長からは、「今回のアンケートは自クラブを見直す良い機会になった。」「キャッチコピーについて会員同士が意見を交換すること自体が非常に有意義であった。」との好意的な意見が多く出されました。

報告会にて発表された各クラブのキャッチコピーは、本月信の末尾に添付いたしました。皆様においては、自クラブの「らしさ」を再認識し自クラブの「ブランド」を確立するための題材として、また公共イメージの向上を図るための契機として、さらには他クラブの方と交流する際のコミュニケーションツールとして、これを積極的に活用していただくことを期待しております。



番号	分区	クラブ名	クラブ奉仕委員長名	キャッチコピー
1	中央	東京 RC	浅野 一	「原点に立つと未来が見える PARTICIPATE !」
2	中央	東京西北 RC	飯田修一	「友情と奉仕の輪を広げよう」
3	中央	東京神田 RC	石澤長一郎	「イベント盛り沢山の クラブ」
4	中央	東京麹町 RC	須藤 仁	「品格を重んじ、仲間を尊重する(あなたが一番、私が二番) クラブ」
5	中央	東京城北 RC	原田令子	「人と人との繋がりを大切にする、同好会の盛んな、握手で始まるファミリークラブ」
6	中央	東京新宿 RC	山内哲夫	「パワーだ」
7	中央	東京セントラルパーク RC	佐野礼治	「奉仕も親睦も、明るく楽しい快活クラブ」
8	中央	東京四谷 RC	杉江 寛	「地元に着した活動を行う、老若男女バランスのとれたクラブ」
9	中央	東京練馬西 RC	横山晴夫	「To Be から To Do へ」
10	中央	東京新都心 RC	大瀧一喜	「Smile & Dream」
11	中央	東京紀尾井町 RC	大竹章裕	「人間形成道場を掲げ、老若男女のバランスを取るワクワク楽しいクラブ」
12	中央	東京お茶の水 RC	山下憲男	「千代田から世界へ広げよう、奉仕の輪」
13	中央	東京練馬中央 RC	市河久和	「フランクで、クラブソングを愛唱する仲間と、居心地の良い雰囲気醸しつつ、ここぞの時は団結するクラブ」
14	中央	東京ワセダ RC	鈴木祥太	「奉仕するところを育む合言葉「和・勢・多」 クラブ」
15	中央	東京御苑 RC	藤原高行	「ヒヨッコなクラブ」
16	中央	東京丸の内 RC	嘉納英樹	「多様性と未来の東京丸の内ロータリークラブ」
17	北	東京北 RC	浅田松太	「伝統と新しさを融合した クラブ」
18	北	東京池袋 RC	大家雅彦	「貴方と新世代を育てる東京池袋ロータリークラブ」
19	北	東京王子 RC	石川千世	「心を一つに ENYAKORA クラブ」
20	北	東京浅草 RC	阪口幸治	「東京・浅草 おもてなしの心が温かい 日本のふるさとがあるクラブ」
21	北	東京板橋 RC	岡本教雄	「仲間と集い、心を合わせ、地域と共に未来へ奉仕するクラブ」
22	北	東京荒川 RC	島 寿一	「伝統を守る 明るい クラブ」
23	北	東京小石川 RC	茶木泰風	「アメリカのアーバナ RC と仲良しの東京小石川 RC」
24	北	東京池袋西 RC	須藤和由	「風通しの良い クラブ」
25	北	東京上野 RC	向井史郎	「藝術と文化にふれあう、下町情緒あふれるクラブ」
26	北	東京浅草中央 RC	岩田幸一	「温故知新」でロータリーを学ぶ美しいクラブ
27	北	東京豊島東 RC	細田新子	
28	北	東京本郷 RC	松岡 浩	クラブアイデンティティは「青少年の健全育成」!!
29	北	東京板橋セントラル RC	花木義明	「いつも 楽しく 仲良し クラブ」
30	北	東京リバーサイド RC	郷田浩一	「和気藹々 な クラブ」
31	北	東京後楽 RC	知花孫光	「目指せ先憂後楽」
32	東	東京東 RC	王 誠	「伝統と格式があるクラブ」 「各々の自社技術に自信を持ち、その技術を通じて職業奉仕するクラブ」
33	東	東京江北 RC	守屋裕之	「今年度創立 60 周年を迎え、厳格にルールを守ってきた親睦を中心としたクラブ」
34	東	東京江東 RC	平手克治	「親睦と福祉の江東 クラブ」
35	東	東京江戸川 RC	山本昌之	「『信頼』それが我らのクラブ」
36	東	東京葛飾 RC	町山芳夫	「老・壮・青が元気でバランスがとれた クラブ」
37	東	東京城東 RC	山田 昇	「仲間の絆が強く和やかな雰囲気の有るクラブ」 「地域と人を支えるクラブ」
38	東	東京向島 RC	宮城廣一	「歴史と伝統の基に、これからの充実と活性化を目指す」 クラブ
39	東	東京東江戸川 RC	鹿倉 勇	「熱き心で影響力のある奉仕活動を実践しています」
40	東	東京葛飾東 RC	吉田勝弘	「A small and friendly club」
41	東	東京足立 RC	石渡嘉郎	「明るく和気あいのクラブ」
42	東	東京ベイ RC	岡本隆一	「いごこちがいいそうだ」「また来よっかな」さわやか東京ベイ
43	東	東京臨海 RC	鈴木孝行	「若くて元気な一本筋の通った 臨海 クラブ」
44	東	東京江戸川中央 RC	矢作文弘	「意見百出だけど結びはワンチームクラブ」
45	東	東京臨海東 RC	石井敏子	「小さな女性の多いクラブですが、アットホームなクラブ」
46	東	東京葛飾中央 RC	中村康男	「繋がりの輪を広げてご縁を大切にするクラブ」
47	東	東京臨海西 RC	飯塚憲貴	「次世代のロータリークラブを担う クラブ」
48	武蔵野	東京武蔵野 RC	花堂靖仁	「タテとヨコ、繋ぎ繋がり、地域をまわす東京武蔵野ロータリークラブ」
49	武蔵野	東京小平 RC	麻 健	「地域に根差し多様性の花を育む」
50	武蔵野	東京田無 RC	松川正秀	「地域に奉仕 おっぺせ田無 クラブ」
51	武蔵野	東京東久留米 RC	奥住智明	「水と緑を守る東京東久留米ロータリークラブ」
52	武蔵野	東京保谷 RC	瀧島喜重	「少数精鋭な保谷クラブ」
53	武蔵野	東京武蔵野中央 RC	柳原克哉	「ロータリー精神に基づき、親睦を大切にする家庭的なクラブ」

番号	分区	クラブ名	クラブ奉仕委員長名	キャッチコピー
54	多摩	東京青梅 RC	塩野淳巳	おおらかで情に厚いとても居心地の良い青梅クラブ
55	多摩	東京東村山 RC	北久保隆一	トトロのふるさとでハッピーライフを目指す
56	多摩	東京福生 RC	齋藤文人	希望の風吹く 福生ロータリークラブ
57	多摩	東京東大和 RC	金野真一	団結力のある 東大和ロータリークラブ
58	多摩	東京武蔵村山 RC	新海正人	親しみのある地域密着型の笑顔溢れる武蔵村山ロータリークラブ
59	多摩	東京秋川 RC	岡部道明	若手と共に躍進する 秋川ロータリークラブ
60	沖縄	那覇 RC	當間 卓	「若手が伝統を継承し、未来へ繋ぐ地域のNo.1 元気 クラブ」
61	沖縄	石垣 RC	森田安高	「島のリズムで伝える 平和と奉仕のくるく」
62	沖縄	コザ RC	川中由仁	「コザの街が大好きな クラブ」
63	沖縄	那覇西 RC	大城純市	「明日を担う青少年を継続して熱意を持って支援するクラブ」
64	沖縄	宮古島 RC	下地 充	「少数精鋭、若い力で頑張る クラブ」
65	沖縄	宜野湾 RC	岡江保彦	「老壮年男女バラエティー豊かで楽しい クラブ」
66	沖縄	那覇東 RC	有松秀行	「いっぺー がんじゅう ちょーでー (大変元気な兄弟) クラブ」
67	沖縄	浦添 RC	田中久光	「てだこ」の街と歩むロータリー
68	沖縄	名護 RC	儀保 充	「永く新鮮に地域(やんばる)と供に」
69	沖縄	那覇南 RC	赤嶺真也	「いちゃりばちょーでー (出会えば皆兄弟) で、親しみあふれるクラブ」
70	沖縄	那覇北 RC	渡久地政也	「若さ溢れ、次世代につなぐクラブ」



会員数報告

2019年7月1日クラブ数	71RC
2019年7月1日正会員数	2,990名
(内女性)	202名
2020年2月末日正会員数	3,019名
(内女性)	217名
会員増減数	29名
入会者数	150名
退会者数	121名

※詳細は地区ウェブサイト「会員数」のページをご覧ください

【哀悼】 謹んで哀悼の意を表します



東京麹町ロータリークラブ
杉本 興治(すぎもと こうじ)会員

逝去日 2020年2月4日 享年75
入会日 2002年1月1日
有限会社エス・アイ・エム代表取締役

ご厚意に対し、深く感謝申し上げます

マルチプル・ポール・ハリス・フェロー

4回	細川 義孝 (東京新宿)	山本 行徳 (東京新宿)
3回	池田 弘孝 (東京新宿)	鈴木 一成 (東京新宿)
2回	平山 洋二 (東京新宿)	狩野 伸彌 (東京新宿)
	木内 二二生 (東京新宿)	小林 十四雄 (東京新宿)
	小林 義忠 (東京新宿)	松井 宏夫 (東京新宿)
	斉藤 源久 (東京新宿)	
1回	伊藤 雅明 (東京西北)	新居 靖之 (東京新宿)
	北中 誠 (東京新宿)	立川 昭吾 (東京新宿)
	是枝 伸彦 (東京新都心)	

ポール・ハリス・フェロー

佐々木 央 (東京西北)	本山 和夫 (東京西北)
渡邊 康平 (東京西北)	福田 紘一 (東京西北)
小関 智宏 (東京西北)	小野 俊彦 (東京新宿)

米山功労者・メジャードナー

16回 千葉 嘉胤 (東京新宿)

米山功労者・マルチプル

2回 内田 隆一 (東京練馬中央)

米山功労者

飯塚 貞子 (東京本郷)

2月29日分まで 敬称略、順不同

編集者:遠山 明良 2019-20年度地区副幹事 東京ロータリークラブ所属